

Android SDK の新しいバージョンへの対応

(installer_r21.0.1-windows.exe など で SDK をインストールした場合) 2013/1/10 版

1-3 節の「Android プロジェクトの作成」の説明と新しい SDK の操作がかなり変わっているので補足します。

ウィザードの選択画面 (図 1) では、Android アプリケーション・プロジェクトを選びます。

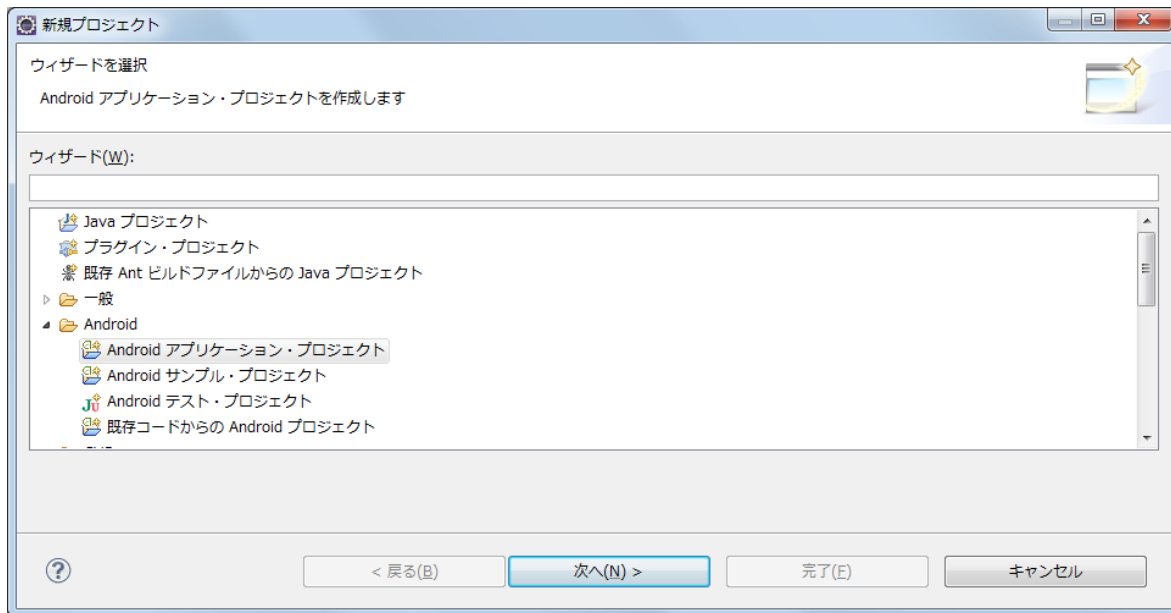


図 1 ウィザードを選択

新規 Android アプリケーションの作成画面 (図 2) では、Application Name にアプリケーション名を、Project Name にプロジェクト名を、Package Name にパッケージ名を入力します。

Minimum Required SDK には、最小 SDK バージョンを指定します。Target SDK がビルドターゲットです。

また、Compile With で、API17 Android4.2 や API16 Android4.1 といった API のバージョンを選択できます。特に問題なければ、デフォルトの API17 Android4.2 のままでも良いと思いますが、ビルドターゲットに合わせることもできます。Theme もデフォルトのままでもかまいません。

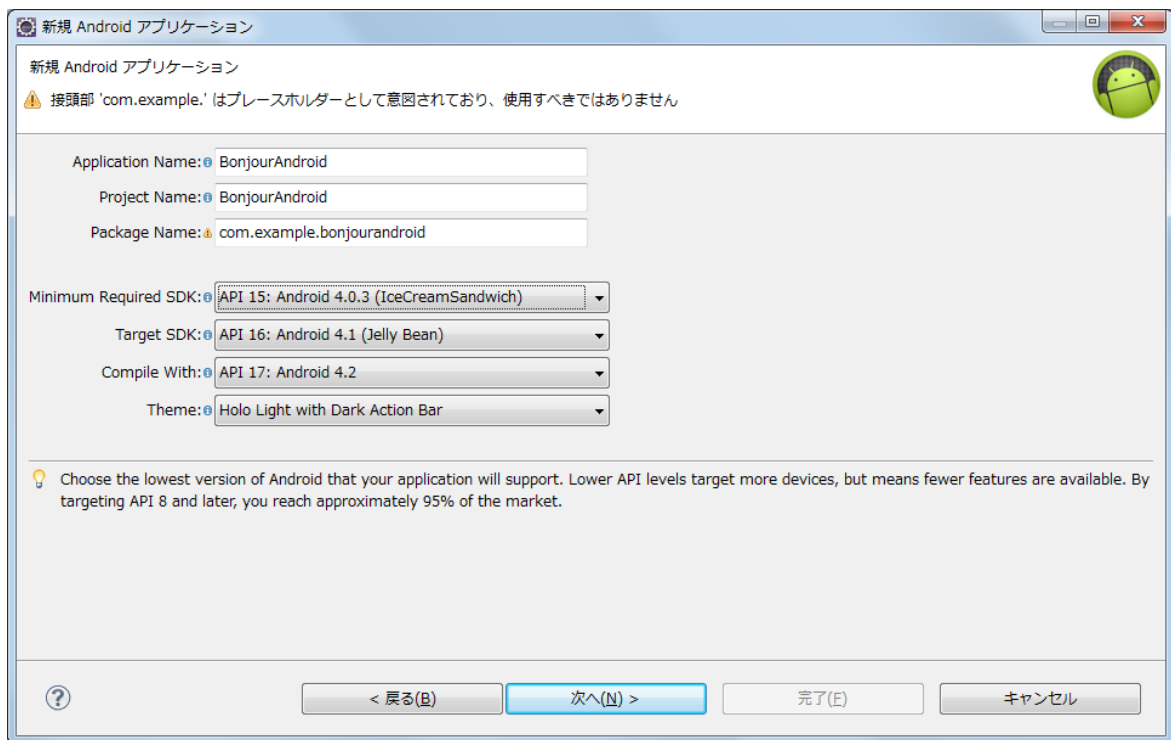


図 2 新規 Android アプリケーション

プロジェクトの構成画面 (図 3) では、[カスタム・ランチャー・アイコンを作成する]、[アクティビティの生成]、[ワークスペース内にプロジェクトを作成] のチェックボックスにチェックが付いた状態で、[次へ(N) >] をクリックします。

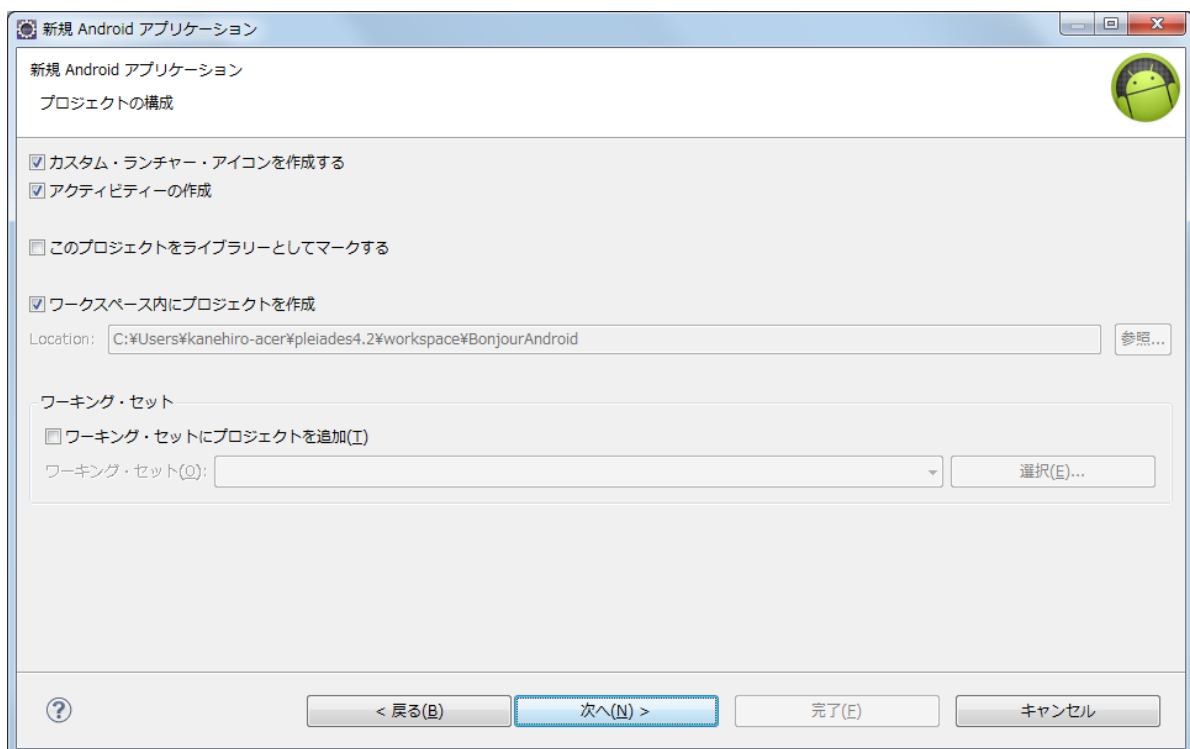


図 3 プロジェクトの構成

次の画面 (図 4) で、ランチャー・アイコンの属性を指定できますが、特に変更する必要はあ

りません。[次へ(N) >] で進めてください。

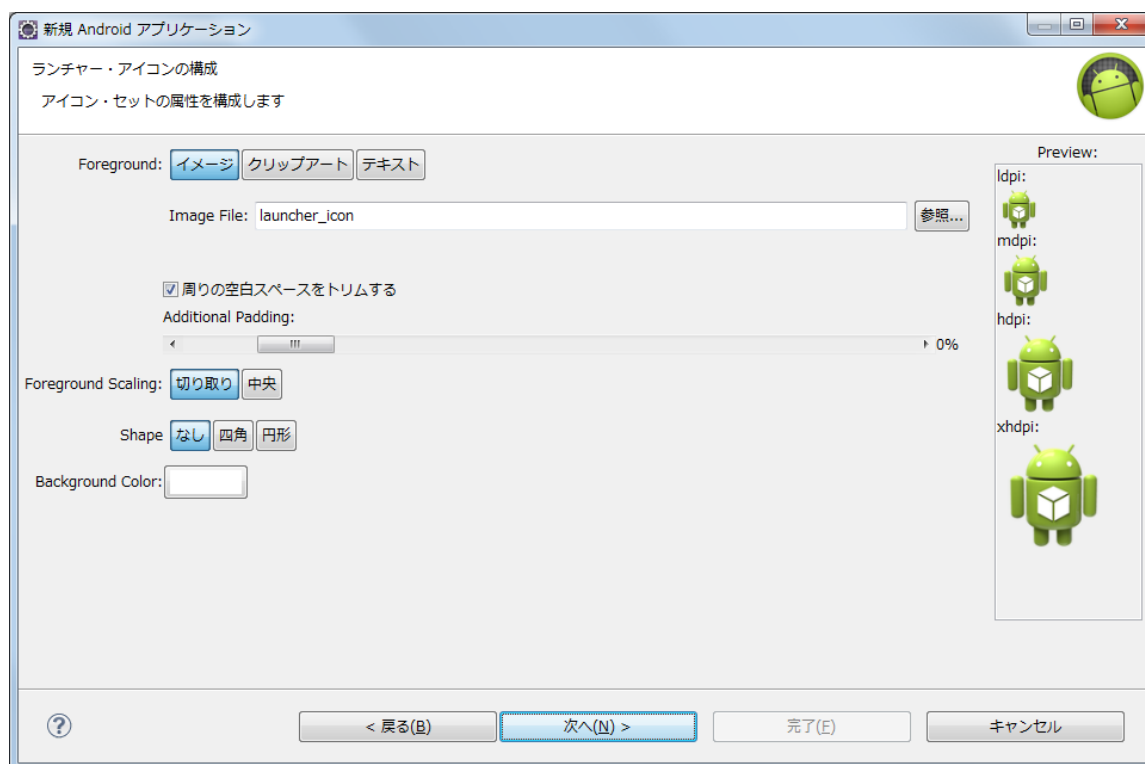


図 4 ランチャー・アイコンの属性の指定

アクティビティの生成画面 (図 5) では、[アクティビティの作成] にチェックが付いており、BlankActivity が選択されている状態で [次へ(N) >] を選びます。

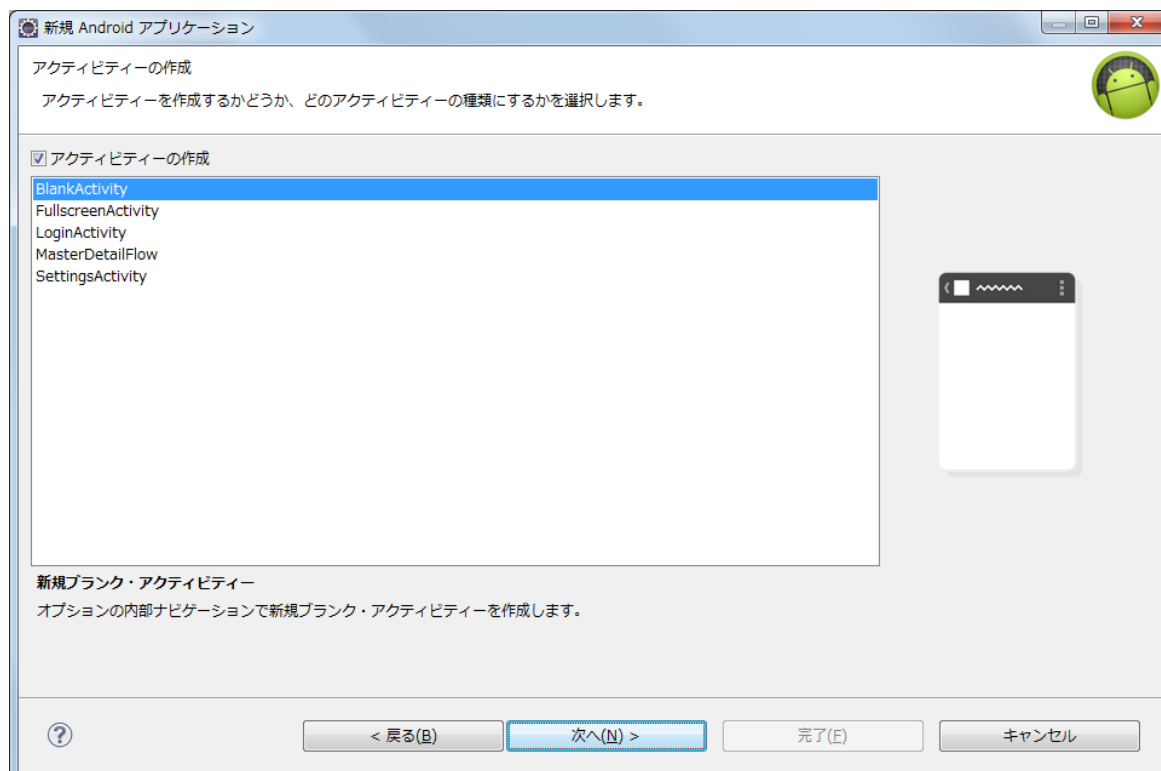


図 5 アクティビティの生成

新規ブランク・アクティビティの画面（図 6）では、Activity Name（アクティビティ名）と Layout Name（レイアウト名）を指定することができます。本書 32 ページ図 1.51 の Hello.java、main.xml に該当する部分です。

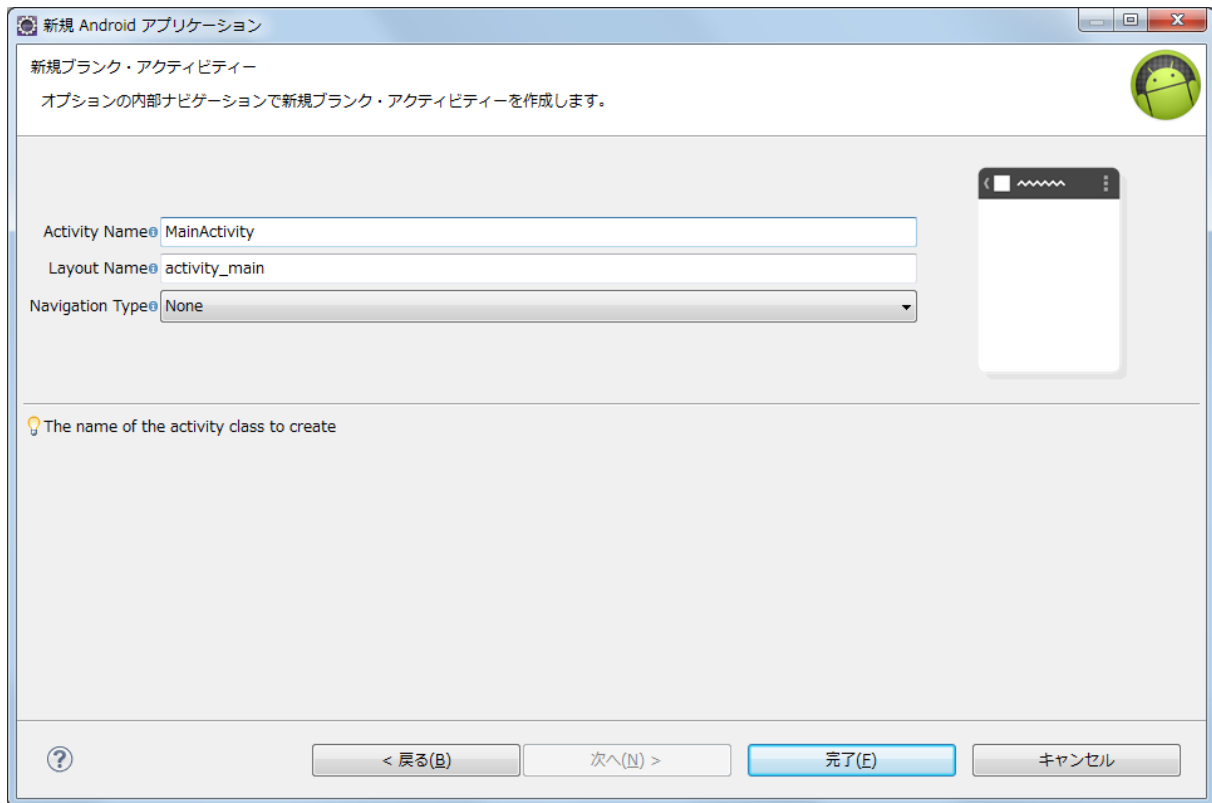


図 6 新規ブランク・アクティビティの画面

たとえば、Activity Name に Bonjour と入力すると、Layout Name は自動的に activity_bonjour となります（図 7）。

[完了(F)] をクリックすると、プロジェクトが作成されます。

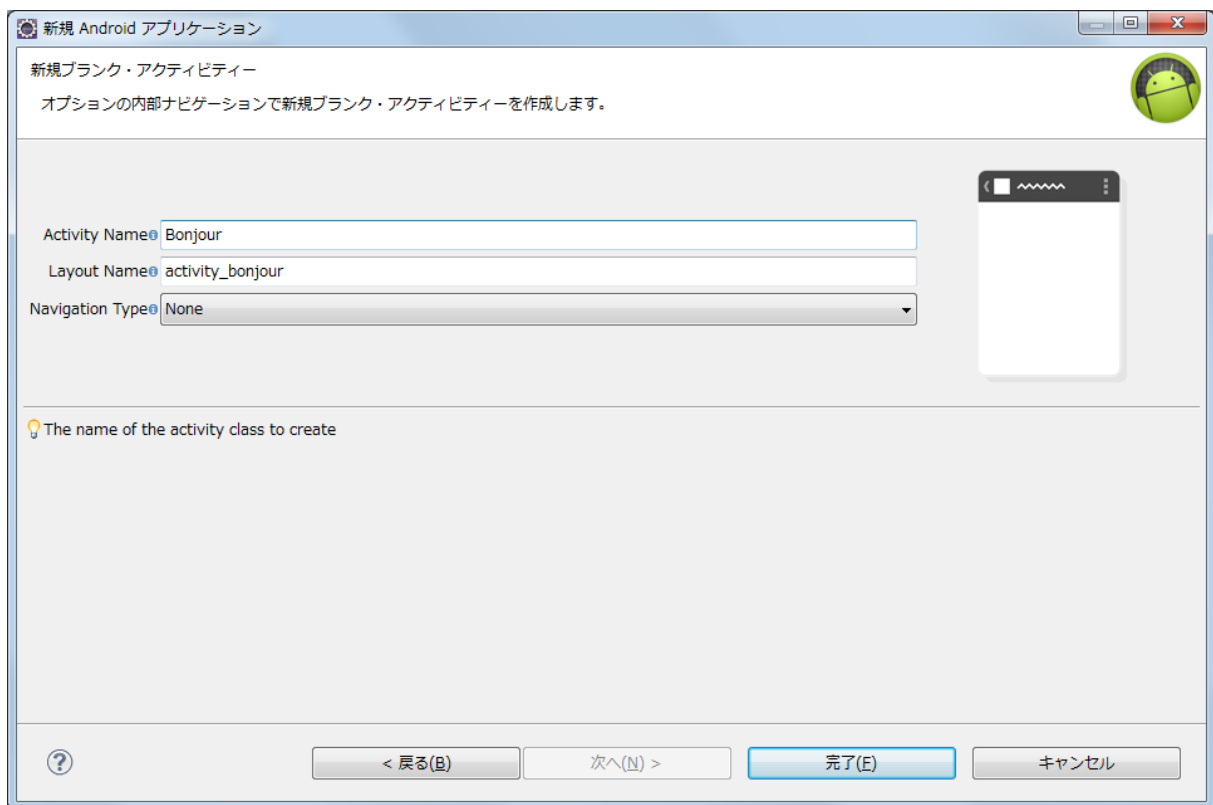


図 7 Activity Name に Bonjour と入力